

事業所職員向け 児童発達支援評価表 集計2019年度分

回答:9件 (複数回答、無回答あり)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、	改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室東スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・曜日固定で可能なスタッフが多いため、勤務の交代を頼みにくい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・クラスの間で、窓を開け換気を行っている。 ・加湿器の使用 ・運動器具や手具の洗浄、除菌	・訓練室のフロアが堅いので、クッションマットを敷いたほうが良い。 ・廊下と活動スペースが同じ高さでするので、活動スペースを清潔に保つように、入り口の靴の脱ぎ履きの工夫が望ましいと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・よりよくするため、日々改善や検討が行われている。	・クラスが連続しているため、共有してできる時間が持ちにくい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげている	○			・定例会等の場で、職員全員に結果を知らせ、改善点を話し合う場をもつようにする。
	7 事業所向け自己評価表お飛び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて結果を公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・定期的な巡回指導による指導を受けている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員は認に研修会等の情報を伝えられています。	・行っているが、まだまだ必要かと思われる。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○			・アセスメントのための知識・ノウハウの充実化を計ること。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・運動チェック一覧表を作成し、使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・本来集団活動のみの募集をしているが、空いている時間に個別が必要な子供の対応をすることがある。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・クラス開始前にプログラムの確認、支援目標の確認を行う。	・できていない時もあるので、うまく時間配分して行いたい。 ・クラス前の打ち合わせの時間設定。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後に時間が取れない時は、プログラム立案時で、情報の共有をしています。	・できていない時もあるので、うまく時間配分して行いたい。 ・クラス後の振り返りの時間。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・個人記録用紙を作成、使用している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画して	○		・スタッフに聴き取りを行い、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	非該当	非該当		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	非該当	非該当		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		できる機会を増やしていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		なくはないが減ってきているかも。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		クラス前後の保護者との時間は良いと感じる。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。		○		
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・2018年度、2019年度はそれぞれ年1回の開催だったが、2020年度は2回の開催を予定している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・不定期で簡単なものでも、印刷物による情報の発信は、保護者の情報を得る選択肢を増やすという点で有効だと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○			
	39	障害の「ある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のたもの配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・南のファミリーカーニバルに参加している	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			・マニュアル等を作成されていると思うが、自ら関心をもってそれらに目を通すという機会を持ってませんでした。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		・避難訓練に参加している	

43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	非該当	非該当	・入会時のインテークの情報の共有はされています。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	非該当	非該当	・入会時のインテークの情報の共有はされています。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・書面で情報共有をしています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか		○		・今年度は、それらの研修回答に参加する機会はありませんでした。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	非該当	非該当		・子供たちの対応で、気になることがある場合、定例会で共有しています。身体拘束に関わることにについては、クラス担当時に支援計画全体に目を通していないのでわかりません。支援計画を読み込むゆとりをもっていきたいと思います。 ・今までに事例がない。